

2021 年度 理研-NICT 合同テラヘルツワークショップ

日時： 2022 年 1 月 12 日 (水) 13:00 - 17:20

場所： オンライン (Zoom Meeting)

主催：理化学研究所 光量子工学研究センター, 情報通信研究機構

13 : 00 - 13 : 05 開催の挨拶 寶迫 巖 (NICT, Beyond5G 研究開発推進ユニット, ユニット長)

13 : 05 - 13 : 55 特別講演

「電波科学の動向と、ミリ波、テラヘルツ波の役割 -アレーアンテナの開発と活用-」

安藤 真 (東京工業大学, 名誉教授)

13 : 55 - 14 : 20

「テラヘルツ無線通信時代に向けた光通信技術の現在」

菅野 敦史 (NICT)

14 : 20 - 14 : 45

「テラヘルツセンシング・イメージングに関する研究開発の進展」

大谷 知行 (RIKEN)

14 : 45 - 15 : 05 — 休憩 —

15 : 05 - 15 : 35 招待講演

「THz-PMT の開発と展望」

河合 直弥 (浜松ホトニクス株式会社)

15 : 35 - 16 : 00

「EO ポリマーを用いたテラヘルツ波検出」

大友 明 (NICT)

16 : 00 - 16 : 25

「新原理に基づく非線形 THz 光源の開発と将来展望」

南出 泰亜 (RIKEN)

16 : 25 - 16 : 50

「Hot-wire CVD 法を用いた SiN マイクロリング共振器からの周波数コム発生」

古澤 健太郎 (NICT)

16 : 50 - 17 : 15

「THz-QCL の進展と展望」

平山 秀樹 (RIKEN)

17 : 15 - 17 : 20 閉会の挨拶 南出 泰亜 (RIKEN, テラヘルツ光源研究チーム, チームリーダー)

※講演時間に質疑応答(5分目安)を含みます